

2024年度（令和6年度）神戸医療産業都市運営委員会 議事要旨

○日時：2024年6月10日（月）14：00～14：50

○会場：クリエイティブラボ神戸（2F）イノベーションパーク

○出席者：都市運営委員会委員、部会長ほか 24名

（1）開会あいさつ（神戸医療産業都市推進機構常務理事）

- ・神戸医療産業都市は、構想開始から25年を迎え現在では医療関連企業、研究開発拠点、病院など360を超える企業、団体が集積する日本最大級のバイオメディカルクラスターに成長した。
- ・都市運営委員会は、神戸医療産業都市にお集まりいただいているステークホルダーの皆様と相互に連携し、シナジーを生み出すことを目的に2018年から開催しており7年目を迎えた。
- ・本日の都市運営委員会では、都市共通の課題解決に向けた皆様からの提案をいただき、さらに向上させていくことを目的に、「課題解決型企画提案事業補助金」についてご審議いただきたい。

（2）2023年度（令和5年度）部会活動報告

- ・2023年度人材戦略部会、都市環境・交流部会の活動報告を行い、異議なく承認された。
- ・2023年度まで部会長として就任した人材戦略部会長、都市環境・交流部会長より挨拶があった。

（前・人材戦略部会長）

- ・3年間、部会長をさせていただいたが、この期間はコロナウイルス感染症が広がった時期で、企業の皆さまや人材に関する事業もそうだが、色んな課題が出てきたと思う。そのような中で、皆様のご協力のもと先ほどの報告にもあったように、様々な取り組みを実施することができた。
- ・今後の予算の兼ね合いもあるが、今年度からが勝負だと思うので、神戸から全国に向けてモデルケースになるような活動を次の部会長に託したい。ご協力に感謝する。

（前・都市環境・交流部会長）

- ・コロナの時期に就任させていただき、途中からは少しずつ落ち着いてきたが、人と人との交流が一番遮断されていた時期にどのようなことができるのか、というところはあった。
- ・最近では交流も徐々に復活し、ポートアイランド・リボーンプロジェクト等、新たな動きが活発になって来たと感じている。引き続き、人の交流を通じて新しいクリエイティブなものを作っていくことを軸に、この会が発展していくことを祈っている。

（3）2024年度（令和6年度）部会活動方針

- ・2024年度の部会活動方針として、「課題解決型企画提案事業補助金」について提案説明を行い、公募のスケジュールも含め異議なく承認された。

（質疑応答）

- ・何件ぐらいの採択を見込んでいるか、また事業ごとに絞られるかなど規模感を教えてほしい。
→1つの対象事業で1つというような絞り込みをするのではなく、あくまで申請いただいたもので

採択するかを判断していきたいと考えている。例えば複数の項目に分かれている、もしくは跨がった事業で申請していただく場合でも、どのような事業にするか相談しながら決めていけたらと考えている。

- ・今年度より新たに就任した人材戦略部会長、都市環境・交流部会長より挨拶があった。

(新・人材戦略部会長)

- ・今年度から部会の予算がないという中で厳しい状況ではあるが、そういった中だからこそ工夫をすることによって生まれるシナジーは出てくると思う。
- ・ここまでやってきたものを部会員の皆さんと協力して更に横展開していけたらと考えているので、サポート願いたい。

(新・都市環境・交流部会長)

- ・これまで委員の皆様や部会の皆様の意見を集約していくことにより非常にたくさんの活動を積み重ねていくことができた。
- ・今年度は、先ほど採択された通り大きく様相が変わるが、その中で部会全体としては、これまでと引き続き積極的な意見交換を大切にしながら進めていきたいと考えている。引き続きご協力をお願いしたい。

(4) 連絡事項等

神戸市都市局より「ポートアイランド・リボーンプロジェクト」の進捗状況や今後の予定等について説明があった。

(5) 閉会あいさつ (クラスター推進センター長)

- ・神戸医療産業都市をどのように盛り上げていくかについてこの会で検討してきた中で、コロナの影響で活動ができなかった時期、あるいは昨年度末で国からの大きな補助金が切れたこと等、これまでも事業を進める上での困難があった。
- ・そのような中、昨年度も皆さんから率直なご意見を多数頂いたが、限られた予算とリソースでこれらの意見をどのように意味のあるものにしていくかについて事務局内で検討した結果、従来のようにいただいた意見やご要望を事務局で取りまとめて外部事業者に発注するような形ではなく、皆さんからいただいた問題意識をより直接的に事業内容に反映される事業設計としてはどうかという結論に至りました。具体的には、本日お諮りしたように、いただいた問題意識を公募課題として設定し、その課題の解決策を公募により全国から募集する。さらにはその採択運営においてもこの会とより直接的に結びつけることにより、この会の活動と直結した課題解決の仕組みを試してみようと考えている。
- ・また、今回の提案も終わりではなく始まりであり、皆さん方のご意見を参考に、引き続きより良いシステムを作っていくために随時改善しながら事業設計を進化させていきたいと思っているので、今後ご意見、ご要望等をお寄せいただき、引き続きご協力いただきたいと思います。

以上